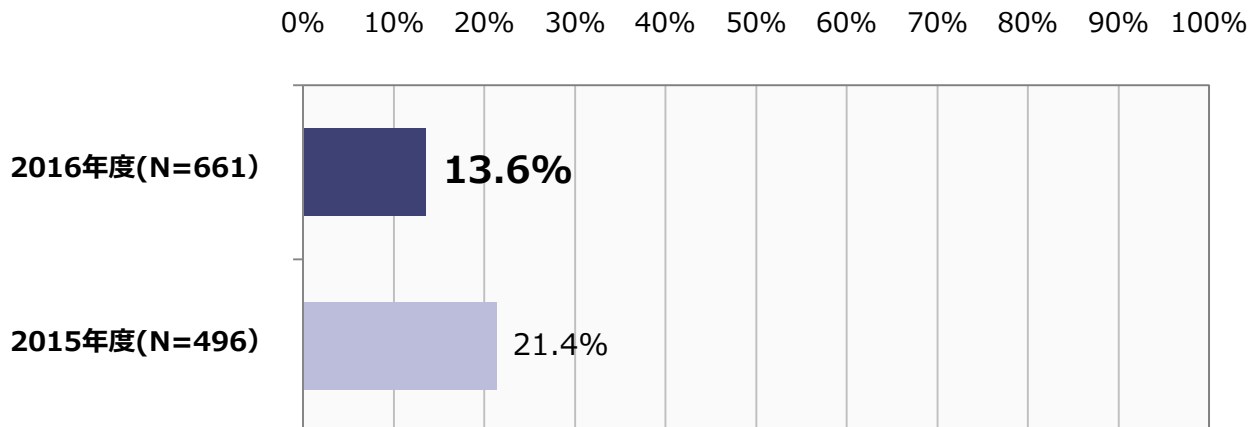


紹介患者の中で院内からの他科受診患者の割合（総合診療部）

総合病院での総合診療部の役割の一つに、院内でのかかりつけ医機能があります。

総合診療部はもともと紹介状がない患者、あるいは、どの診療科を受診するのか不明な患者の診療目的に診療を行っていますが、他科のかかりつけ患者でも総合的な診察が必要な場合、あるいは他科かかりつけの患者でその科が対応できない場合には院内から協診依頼を受けています。

この院内から協診依頼患者の割合が大きいほど、院内の他科の医師から総合診療部の診療が信頼されていると考えられます。



当院値の定義・算出方法

分子： 院内からの協診患者数の数 $\times 100$ (%)

分母： 全外来紹介患者数

※グラフ中のN数は分母の値を示しています。

結果の考察および今後の取り組み

協診率は2015年度の21%から2016年度は14%に低下しました。

今後他科が協診を依頼しやすいように周知していく予定です。

文責：総合診療部主任部長
田中 和豊